ELECOM

モバイルワイヤレスマウス
M-MBDURシリーズ
ユーザーズマニュアル

この度は、エレコムのモバイルワイヤレスマウス"M-MBDUR" シリーズをお買いあげいただき誠にありがとうございます。"M-MBDUR" シリーズはワイヤレスで操作できるホイール付きオプティカルマウスです。手のひらサイズのコンパクト設計で、マウスを使用しないときはマウス本体をレシーバユニット（ケース）に収納できます。このマニュアルでは"M-MBDUR" シリーズの操作方法と、"M-MBDUR" シリーズを安全にお取り扱いいただくための注意事項を記載しています。ご使用前に、必ずこのマニュアルをお読みください。なお、このマニュアルでは一部の表記を除いて"M-MBDUR" シリーズを「本製品」と表記しています。また、このマニュアルは大切に保管しておいてください。

■本製品は以下の条件で使用できます。

対応機種	IBM PC/AT互換機およびNEC PC98-NXシリーズでUSBポートを標準で装備した機種
対応ＯＳ	Windows® XP/Me/2000/98 （日本語版OSに限り対応します。）

※本製品は“微弱電波機器”ですので総務大臣の無線局許可は必要ありません。電波法に準拠しています。

パッケージ内容の確認

本製品のパッケージには次のものが入っています。作業を始める前に、すべてが揃っているかを確かめてください。なお、梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、すぐにお買い上げの販売店または弊社エレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。

●マウス本体・	1 個
●レシーバユニット（ケース）・	1 個
●単4形アルカリ乾電池（動作確認用）・	2 本
●ユーザーズマニュアル（このマニュアルです）・	1 枚

安全にお使いいただくために

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

⚠ 警 告	**この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。**
⚠ 注 意	**この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。**

■絵表示の意味

⃠記号は「してはいけない」ことを示します。

●記号は「しなければならない」ことを示します。

⚠ 警　告

❗ 本製品が発熱している、煙がでている、へんな臭いがしているなどの異常があるときは直ちに使用を中止したうえで、レシーバユニットをパソコンからはずし、マウスから乾電池を取り出してください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。

⃠ そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。本製品を落としたり、ぶつけたりしないでください。万一、本製品が破損した場合は、直ちに使用を中止したうえで、レシーバユニットをパソコンからはずし、マウスから乾電池を取り出してください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。破損したまま使用すると、火災や感電の原因になります。

⃠ 本製品の分解、改造、修理をご自分でしないでください。火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保証の対象外となります。

❗ 本製品に水や金属片などの異物が入った場合は、直ちに使用を中止したうえで、レシーバユニットをパソコンからはずし、マウスから乾電池を取り出してください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。

⃠ 本製品を火中に投入しないでください。破裂により火災やけがの原因になります。

⃠ レシーバユニットをぬれた手で抜き差ししないでください。また、加工したり、無理に曲げたりしないでください。火災や感電の原因になります。

⃠ マウスの底面にあるオプティカルセンサ（赤い光）を直接見ないようにしてください。目を痛めることがあります。また、このセンサを汚したり、傷をつけたりしないでください。

⚠ 注　意

⃠ 本製品は次のようなところでは使用しないでください。
- ・日のあたる自動車内、直射日光のあたるところ、暖房器具の周辺など高温になるところ
- ・多湿なところ、結露をおこすところ
- ・平坦でないところ、振動が発生するところ
- ・マグネットの近くなどの磁場が発生するところ
- ・ほこりの多いところ

❗ レシーバユニットをパソコンに接続するときは、コネクタの向きを間違えないように接続してください。無理に押し込むと、レシーバユニットやパソコンが故障したり、けがをする恐れがあります。

❗ 本製品は防水構造ではありませんので、水などの液体がかからないところで使用または保存してください。雨、水しぶき、ジュース、コーヒー、蒸気、汗なども故障の原因となります。

❗ 本製品には単4形アルカリ乾電池または単4形マンガン乾電池をお使いください。充電式電池は使用しないでください。電池は新しいものと古いものを混ぜて使用したり、分解したりしないでください。プラスとマイナスの向きを正しく入れてください。また、本製品を長期間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。液漏れや故障の原因になります。

❗ 本製品に使用する乾電池は、一般の不燃ゴミとして処分できるものです。自治体の条例などの定めがある場合は、その条例に従って廃棄してください。

本製品を使用する際の注意事項

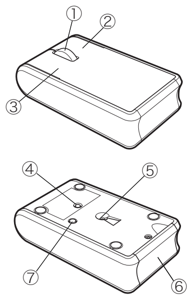
- ●本製品は電池の消耗を防ぐためスリープモードがあります。約1秒操作がありませんとスリープモードに移行します。スリープモード状態の時に何らかのマウス操作をおこなうと通常モードに戻ります。
- ●本製品の誤動作によって、重大な影響を及ぼす恐れのある機器では使用しないでください。本製品は周波数が27MHz帯の微弱電波を使用しており、まれに外部から同じ周波数の電波を受け、誤動作することがあります。
- ●航空機内や病院など、電波使用を禁止されている場所では本製品をご使用にならないでください。微弱ですが電波を使用しているため、電子機器や医療機器（例えばペースメーカー）などに影響を及ぼす恐れがあります。
- ●携帯電話は、本製品に影響を受けない距離を保ってご使用ください。携帯電話の電波の影響を受けて本製品の動作が不安定になることがあります。
- ●残量が少なくなった電池は、新しいものと交換してください。電池の残量がすくなくなると動作が不安定になります。

お手入れのしかた

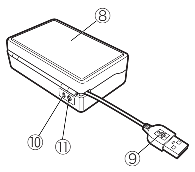
本製品が汚れたときは、乾いたやわらかい布でふいてください。
- ・シンナー、ベンジン、アルコールなど揮発性の液体を使用すると変質や変色をおこすことがあります。

各部の名称とはたらき

■マウス本体

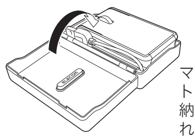


■レシーバユニット



①	ホイール	指で前後に回転させたり、ボタンのように押すことで、パソコンの操作ができます。
②	右ボタン	パソコンの操作の右クリックに使います。
③	左ボタン	パソコンの操作の左クリックに使います。
④	収納検出スイッチ	レシーバユニットからマウス本体を取り出すと、このスイッチが検出しマウス本体に電源が入ります。
⑤	オプティカルセンサ	マウス本体に乾電池が入ると赤く光ります。マウス本体を動かしたときに、このセンサによってマウスの動きが検知されます。センサの光を直接見ると目を痛めることがありますので注意してください。
⑥	電池カバー	このカバーを開けて、電池を入れます。
⑦	ID設定ボタン	本製品のIDを変更するときに使います。
⑧	レシーバユニットカバー	このカバーを開けて、マウス本体とUSBコネクタを収納します。レシーバユニットにマウス本体を収納すると、マウス本体の電源が切れます。下記の「***Tips***」および2ページ「マウスを使う」をご覧ください。
⑨	USBコネクタ(オス)	パソコンのUSBポートに接続します。
⑩	動作表示LED	USBコネクタから電源が供給されると点灯します。マウス本体から信号を受信すると点滅します。
⑪	ID設定ボタン	本製品のIDを変更するときに使います。

Tips **マウス本体は収納できます。**



マウス本体はレシーバユニットの中に収納できます。収納するとマウスの電源が切れ、電池が長持ちします。

レシーバユニットの取り付け/取り外し

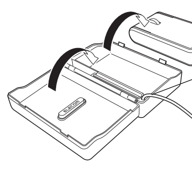
はじめてお使いになるときは、はじめにレシーバユニットをパソコンに取り付けます。以下の手順どおりパソコンの電源を入れてからレシーバユニットを取り付けてください。Windows® XP/MeおよびWindows® 2000の一部の環境では、レシーバユニットを取り付けると自動的にWindows® 標準のドライバがインストールされ、すぐに使用できるようになります。

■取り付ける場合

注意 **取り付けの前に以下の点にご注意ください**
- Windows® 98/2000 をご使用の場合、今までお使いのマウスは接続したままにしておきます。あとのセットアップでマウスの操作が必要な場合があります。
- 既存のマウスがメーカオリジナルのドライバや設定ユーティリティなどを使用している場合は、あらかじめアンインストールしておいてください。他社製ドライバなどがインストールされていると本製品が正常に動作しないことがあります。アンインストールの方法については、今までお使いのマウスの説明書をお読みください。

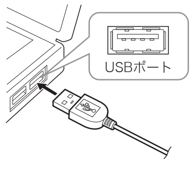
❶レシーバユニットを取り付ける前にパソコンの電源を入れ、Windows®を起動します。
- ・Windows® XPの場合は、起動時にログオンするアカウント(ユーザー名)を尋ねられる場合は、必ず「コンピュータの管理者」権限があるアカウントでログオンしてください。
- ・Windows® 2000の場合は、Administratorの権限をもつユーザーでログオンしてください。
- ・Windows®が起動し、操作可能な状態になるのを確認してください。

❷レシーバユニットからマウス本体とUSBコネクタを取り出し、カバーを閉めます。



カバーを閉めるときは、ケーブルをはさまないように注意してください。

❸レシーバユニットのUSBコネクタをパソコンのUSBポートに差し込みます。



- ・差し込みの際、強い抵抗を感じる場合は、コネクタの形状と向きが正しいか確認してください。無理に押し込むとコネクタが破損したり、けがをする恐れがあります。
- ・USBハブ経由でもお使いいただけます。ただし、USBハブの電源供給能力によっては本製品が動作しない場合があります。

❹この後はOSにより動作が異なります。

●Windows® XP/Me の場合

自動的にドライバがインストールされます。これでレシーバユニットの取り付けとドライバのインストールは完了です。

→2ページ「乾電池を入れる/交換する」へ進みます。

● Windows® 2000 の場合
- ・ドライバが自動的にインストールされた場合は、これでレシーバユニットの取り付けとドライバのインストールは完了です。
  →2ページ「乾電池を入れる/交換する」へ進みます。
- ・ウィザード画面が表示された場合は、手動でドライバをインストールします。
  →このページの「レシーバユニットをセットアップする（Windoows® の場合）」へ進みます。

● Windows® 98 の場合

ウィザード画面が表示されます。

→このページの「レシーバユニットをセットアップする（Windoows® の場合）」へ進みます。

■取り外す場合

レシーバユニットはホットプラグに対応していますので、Windows®が起動した状態でも取り外すことができます。

※Windows®の起動中に何度も着脱をくり返すと、動作が不安定になることがあります。このような場合はWindows®を再起動してください。

レシーバユニットをセットアップする

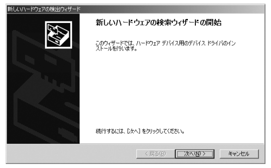
Windows® 2000の一部の環境とWindows® 98では、レシーバユニットの取り付け後にウィザード画面が表示されます。ウィザード画面が表示された場合は、この後の各OSの説明をお読みになりドライバをインストールしてください。

Tips **マウスやタッチパッドのないパソコンの場合**

Windows® 98/2000ではセットアップ時にマウスの操作が必要なことがあります。マウスまたはタッチパッドなどがないパソコンをお使いの場合は2ページ「トラブルシューティング」の「***Tips***：キーボードでの操作」をご覧になり、キーボードから操作してください。

Windows® 2000の場合

Windows® 2000では、ご使用の環境によってレシーバユニットの取り付け後に次のようなウィザード画面が表示されることがあります。ウィザード画面が表示された場合は、メッセージにしたがってドライバをインストールしてください。レシーバユニットの取り付け後に自動的にドライバがインストールされた場合はウィザード画面は表示されませんので、この手順は不要です。



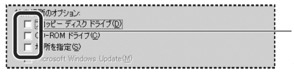
新しいハードウェアの検出ウィザード

新しいハードウェアの検索ウィザードの開始

このウィザードでは、ハードウェア デバイス用のデバイス ドライバのインストールを行います。

続行するには、[次へ] をクリックしてください。

●途中、〈ドライバ　ファイルの特定〉画面が表示された場合は［検索場所のオプション］のチェックをすべてオフにして、次へ進んでください。



検索場所のオプション:

☐ フロッピー ディスク ドライブ(D)

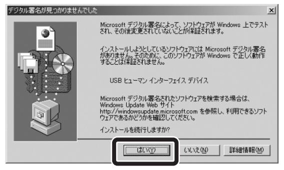
☐ CD-ROM ドライブ(C)

☐ 場所を指定(S)

Microsoft Windows Update(M)

チェックボックスがオフ（□）の状態になっているか確認します。

●途中、「デジタル署名が見つかりませんでした」という画面が表示されます。「USBヒューマン インターフェイス デバイス」および「HID キーボードデバイス」のいずれのドライバも正常に動作することを当社で確認しておりますので、はい ボタンをクリックして次へ進んでください。



デジタル署名が見つかりませんでした

Microsoft デジタル署名によって、ソフトウェアが Windows 上でテストされ、その後変更されていないことが保証されます。

インストールしようとしているソフトウェアには Microsoft デジタル署名がありません。そのために、このソフトウェアが Windows で正しく動作することは保証されません。

USB ヒューマン インターフェイス デバイス

Microsoft デジタル署名されたソフトウェアを検索する場合は、Windows Update Web サイト http://windowsupdate.microsoft.com を参照し、利用できるソフトウェアであるかどうかを確認してください。

インストールを続行しますか?

●インストールが終われば2ページ「乾電池を入れる/交換する」へ進みます。

Windows® 98の場合

Windows® 98では、レシーバユニットの取り付け後にウィザード画面が表示されますので、手動でドライバをインストールしてください。セットアップ中に「Windows® 98 オペレーティングシステム」のCD-ROM が必要になる場合がありますので、あらかじめご用意ください。

●Windows® 98プリインストールモデルのコンピュータをご使用の場合

パソコンのご購入時に添付されている「Windows® 98 CD-ROM」または「Windows® 98 Second Edition CD-ROM」をご用意ください。

このような表記のCD-ROMがない場合は、手順❽の*Tips*で「ファイルのコピー元」にCD-ROMドライブを指定する代わりに「C:¥windows¥options¥cabs」フォルダを指定してください。

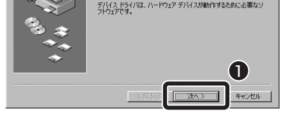
※このフォルダを指定してもインストールが進まない場合は、Windows® 98標準ドライバファイルの保存先についてお使いのパソコンメーカにお問い合わせください。

※Windows® 98プリインストールモデルの場合は、ドライバが自動的にインストールされることもあります。

●Windows® 98のパッケージをご購入されている場合

パッケージに入っている「Windows® 98」のCD-ROMをご用意ください。

❶レシーバユニットの取り付け後、〈新しいハードウェアの追加ウィザード〉画面が表示されます。次へ ボタンをクリックします。



新しいハードウェアの追加ウィザード

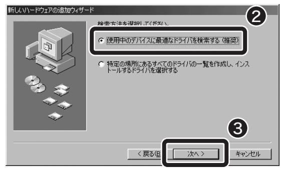
次の新しいドライバを検索しています：

USB ヒューマン インターフェイス デバイス

デバイス ドライバは、ハードウェア デバイスが動作するために必要なソフトウェアです。

❷「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する」を選択します。

❸ 次へ ボタンをクリックします。



新しいハードウェアの追加ウィザード

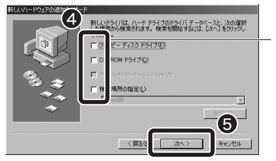
検索方法を選択してください。

● 使用中のデバイスに最適なドライバを検索する (推奨)

○ 特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する

❹すべてのチェックボックスをオフにします。

❺ 次へ ボタンをクリックします。



新しいハードウェアの追加ウィザード

新しいドライバは、ハード ドライブのドライバ データベースと、次の選択した場所から検索されます。検索を開始するには、[次へ] をクリックしてください。

☐ フロッピー ディスク ドライブ(F)

☐ CD-ROM ドライブ(C)

☐ Microsoft Windows Update(M)

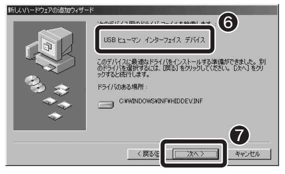
☐ 検索場所の指定(L):

チェックボックスがオフ(□)の状態になっているか確認します。

- ・キーボードで操作している場合で［検索場所の指定］のチェックボックスがオフにできないときは、［検索場所の指定］の入力スペースを空白にしておいてください。

❻検索するドライバファイルとして「USBヒューマン インターフェイス デバイス」が表示されていることを確認します。

❼ 次へ ボタンをクリックします。



新しいハードウェアの追加ウィザード

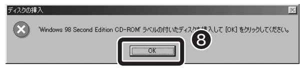
USB ヒューマン インターフェイス デバイス

このデバイスに最適なドライバをインストールする準備ができました。別のドライバを選択するには、[戻る] をクリックしてください。[次へ] をクリックすると続行します。

ドライバのある場所：

C:¥WINDOWS¥INF¥HIDDEV.INF

❽Windows® 98 CD-ROMをドライブに入れるようにメッセージが表示された場合は、用意しておいたCD-ROMをドライブに入れます。OK ボタンをクリックします。



ディスクの挿入

'Windows 98 Second Edition CD-ROM' ラベルの付いたディスクを挿入して [OK] をクリックしてください。

- ・プリインストールモデルをご使用の場合は、このあとの「***Tips***」を参照してフォルダを指定してください。

Tips **OK ボタンをクリックしたあと、〈ファイルのコピー〉画面が表示された場合**

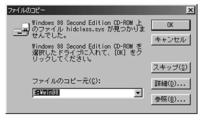
以下のいずれかの方法で「ファイルのコピー元」を指定します。

※プリインストールモデルでWindowsRのCD-ROM が添付されていなかった場合は、CD-ROMドライブのドライブ名の代わりに「c:¥windows¥options¥cabs」フォルダを指定してください。

※コピー先のほうが、CD-ROM のファイルより日付が新しい場合は、そのまま新しい日付のファイルを使用してください。

●ドライブ/フォルダ名を入力する方法

①キーボードからCD-ROMドライブのドライブ名と「¥win98」を入力します。



ファイルのコピー

Windows 98 Second Edition CD-ROM 上のファイル hidclass.sys が見つかりませんでした。

Windows 98 Second Edition CD-ROM を選択したドライブに入れて、[OK] をクリックしてください。

ファイルのコピー元(C): E:¥win98

例：CD-ROMをDドライブに入れた場合

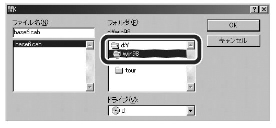
D:¥WIN98(小文字でも可)

※ドライブ名に続いて「:」と「¥」を入力し、さらに「WIN98」を入力します。

②OK ボタンをクリックします。

● 参照 ボタンをクリックする方法

①〈ファイルのコピー〉画面で、参照 ボタンをクリックします。



開く

ファイル名(N): base6.cab

フォルダ(F): d:¥win98

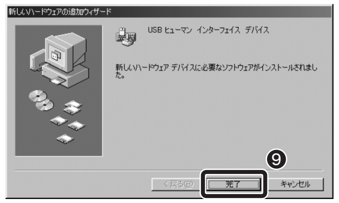
ドライブ(V): d:

②「ドライブ」でCD-ROMを入れたドライブを選択し、「フォルダ」で「win98」フォルダを選択します。

③ OK ボタンをクリックします。

④〈ファイルのコピー〉画面の OK ボタンをクリックします。

❾ドライバのインストールが完了したら、完了 ボタンをクリックします。



新しいハードウェアの追加ウィザード

USB ヒューマン インターフェイス デバイス

新しいハードウェア デバイスに必要なソフトウェアがインストールされました。

- ・Windows® 98 CD-ROMの画面が表示された場合は、画面右上の ✕ をクリックして画面を閉じてください。
- ・Windows® 98 CD-ROMを取り出してください。

注意 **完了 ボタンをクリックしたあと、Windows® 98 CD-ROM を要求されたときは**

ご使用の環境によっては 完了 ボタンをクリックしたあと、ドライバの更新中にWindows® 98 のCD-ROMを要求されることがあります。このような場合は、手順❽と手順❽の***Tips***を参考にしてインストール作業を続けてください。

❿これでレシーバユニットのセットアップは完了です。2ページ「乾電池を入れる/交換する」へ進みます。

乾電池を入れる/交換する

マウス本体に単4形アルカリ乾電池または単4形マンガン乾電池を2本入れます。本製品に付属のアルカリ乾電池は動作確認用です。製品の流通過程で乾電池が自然放電し消耗していることがありますので、動作が不安定な場合は新しい乾電池に交換してください。

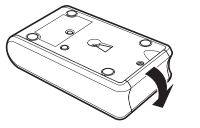
Tips 乾電池について

●使用できる乾電池について
本製品で使用できる乾電池は、市販されている単4形アルカリ乾電池または単4形マンガン乾電池です。その他の乾電池は使用しないでください。

●電力性能(新しい単4形アルカリ乾電池を使用した場合)
連続動作時間:約32時間　連続待機時間:約180日
想定使用可能時間:約15日(1日8時間のパソコン操作中25%をマウス操作に割り当てた場合)
※マウスを使用しないときは電源を切っておくと、電池を節約できます。このページの「レシーバユニットを収納する」および「電源を切る」をお読みください。

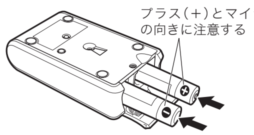
●電池交換の時期
乾電池の残量が少なくなると、マウス底面にあるオプティカルセンサのLEDが点灯しなくなります。早めに乾電池を交換するようにしてください。

❶電池カバーを開けます。



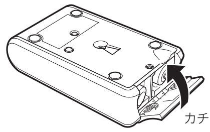
・マウスに電池が入っている場合、マウスを後方(電池カバー側)に傾けていると、電池カバーを開けたときに電池を落としてしまうことがあります。ご注意ください。

❷乾電池を入れます。


プラス(+)とマイナス(-)
の向きに注意する

・交換する場合は先に古い電池を取り出してから新しい電池を入れます。
・プラス(+)とマイナス(-)の向きを正しく入れてください。
・種類の違う電池や新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。電池が液漏れを起こし、故障の原因となります。

❸電池カバーを閉めます。



・電池カバーを閉めるとマウスに電源が入り、底面のオプティカルセンサが赤く点灯します。

❹次の「マウスを使う」へ進みます。

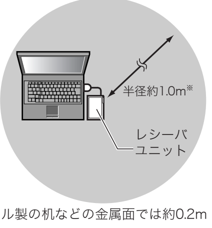
マウスを使う

■レシーバユニットの位置を調整する

- ●レシーバユニットはできるだけマウスに近い範囲に設置してください。
- ●レシーバユニットとマウス本体の間には、ディスプレイモニタなど電波に干渉する機器を置かないでください。無線LANや携帯電話の電波が影響することもありますので、レシーバユニットは無線LANアダプタや携帯電話から離してください。

■本製品の動作範囲

マウス本体はレシーバユニットから半径約1.0m以内の範囲でお使いください。使用環境によっては約1.0mの範囲内でもマウスが正常に動作しない場合があります。
その場合は、動作が安定するところまでマウスをレシーバユニットに近づけてください。

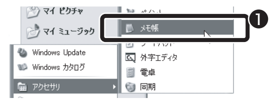

半径約1.0m※
レシーバユニット

※本製品の動作範囲は、スチール製の机などの金属面では約0.2mになります。

■ホイールの動作を確認する

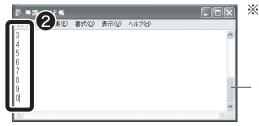
ドライバが正常にインストールされると、カーソルの移動や左右ボタンが使用できるようになります。ここでは、Windows®の標準機能である「メモ帳」を使ってマウスのホイールが正常に動作しているかを確かめます。

❶[スタート]ボタン→[(すべての)プログラム]→[アクセサリ]を選択し、[メモ帳]をクリックします。


マイ ピクチャ
マイ ミュージック
Windows Update
Windows カタログ
アクセサリ
メモ帳
外字エディタ
電卓
同期
❶

・Windows® XPのみ「すべてのプログラム」と表示されています。

❷メモ帳の画面の高さを10行程度表示できる大きさにします。文字の入力と改行をくり返

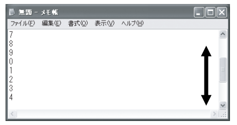

無題 - メモ帳
書式(O)
表示(V)
ヘルプ(H)
3
4
5
6
7
8
9
0
❷

※画面例では0〜9の数字を順番にひとつずつ入力して改行しています。

表示できる行数を超えるとスクロールバーが現れます。

・適当な文字を入力します。
・入力する文字の行数は、10行程度表示できるようにしている場合で20行程度入力します。

❸マウスのホイールを前後に回します。

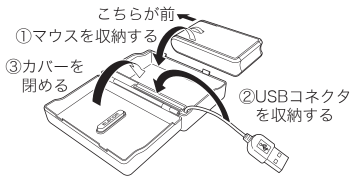

無題 - メモ帳
ファイル(F)
編集(E)
書式(O)
表示(V)
ヘルプ(H)
7
8
9
0
1
2
3
4

・ホイールの動きに合わせて画面がスクロールすれば問題ありません。

注意 すべてのアプリケーションがホイール機能に対応しているわけではありません。一部のアプリケーションでは、ホイールを回しても動作しない場合があります。

■電源を切る(レシーバユニットに収納する)

マウスを使用しないときはマウス本体をレシーバユニットに収納しておくと、マウスの電源が切れ、電池を節約できます。下図のように、マウス本体とUSBコネクタをレシーバユニットに収納し、カチッと音がするまでカバーを閉めます。マウスの電源が切れます。


こちらが前
①マウスを収納する
③カバーを閉める
②USBコネクタを収納する

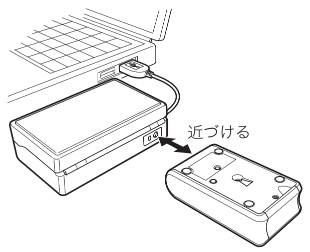
ID を変更する

本製品は無線を使用しているため、同じIDの製品が狭い範囲に複数ある場合、混信を起こすことがあります。混信が起こる場合は以下の手順でID設定を変更してください。また、マウスが動作しないときは、レシーバユニットとマウスが異なるIDに変更されている可能性がありますので、同じIDになるように設定してください。

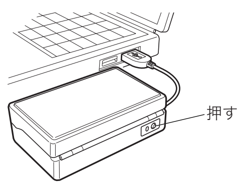
注意 ID設定を変更して混信を回避しても、近接した周波数を使用しているために、動作性能が多少低下することがあります。

❶レシーバユニットをパソコン本体などのUSBポートに取り付けた状態でWindows®を起動しておきます。

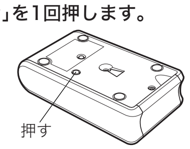
❷確実に電波を受信できるようにマウス本体をレシーバユニットに近づけます。



❸レシーバユニットの「ID設定ボタン」を1回押します。



❹10秒以内にマウス本体の底面にある「ID設定ボタン」を1回押します。



❺マウスを動かして、カーソルが正しく動くか確認します。

・カーソルが動かない場合は手順❷に戻り、もう一度、IDを変更してください。

トラブルシューティング

正常に動作しないとき

マウスを動かしても画面上のマウスポインタが動かないときや動作が不安定なときは、以下の点をご確認ください。

➡スチール製の机などの金属面では電波の到達距離が短くなる場合があります。この場合、マウスの動作が安定するところまでレシーバユニットをマウスに近づけてください。

➡レシーバユニットがパソコン本体などのUSBポートに正しく接続されていない可能性があります。いったんコネクタをはずして、接続しなおしてください。

➡レシーバユニットとマウス本体の距離が離れすぎているか、レシーバユニットが電波を受信できない方向を向いている可能性があります。レシーバユニットの位置を調整するなどしてください。

➡レシーバユニットとマウス本体のID設定が異なっている可能性があります。このページの「IDを変更する」をお読みになりIDの設定をやり直してください。すでにID設定をしている場合は、正しく設定できていない可能性があります。マウス側のID設定ボタンは、オプティカルセンサが消灯するまでしっかりと押してください。レシーバユニット側のID設定ボタンは、マウス側のID設定ボタンを押してから10秒以内に、カチッという感触があるまでしっかりと押してください。また、スチール製のデスクなどの金属面でIDを設定すると正しく設定できないことがありますので、マウスパッドなどを敷いてから設定をやり直してください。

➡レシーバユニットとマウスの間にディスプレイモニタを配置すると、電波が干渉する場合があります。この場合、配置を見直してください。その他にも、無線LANアダプタや携帯電話なども電波が干渉する原因になります。

➡本製品を複数で使用したり、他のワイヤレス機器と同時に使用すると、電波が干渉する可能性があります。このページの「IDを変更する」をお読みになり本製品のID設定を変更するか、他のワイヤレス機器のIDを変更してください。

➡電池の残量が少なくなっている可能性があります。このページの「乾電池を入れる/交換する」をお読みになり、新しい電池と交換してください。

➡ドライバが正しくインストールされず、本製品がWindows®に「不明なデバイス」として登録されている可能性があります。本製品は通常は「USBヒューマンインターフェイスデバイス」として登録されます。「不明なデバイス」になっている場合は、次の「『不明なデバイス』の削除方法」をお読みになり、いったんドライバを削除してください。次に 1 ページ「レシーバユニットをセットアップする」をお読みになり、セットアップをやり直してください。

➡ノートパソコンのタッチパッドなど、他のドライバと競合している可能性があります。本製品を正常に使用するには、タッチパッドのドライバを削除する必要があります。ただし、ドライバを削除するとタッチパッドが使用できなくなったり、タッチパッド専用の機能が使用できなくなる可能性があります。詳しくはパソコンのメーカにお問い合わせください。

Tips キーボードでの操作

Windows® 98/2000でのセットアップ時にキーボードで操作しなければならない場合は、次のキーを使用します。

TAB : 項目やボタンを移動します。
↑ ↓ : 項目に選択肢がある場合に、選択肢を移動します。
C キー: キーを押すたびにチェックボックスをオン/オフします。
※ 次へ OK キャンセル などのボタンを実行したい場合は、 Enter キーを押します。

「不明なデバイス」の削除方法

本製品のドライバが正しくインストールされず、「不明なデバイス」として登録されているときは、デバイスマネージャを使って「不明なデバイス」を削除してからセットアップをやり直してください。

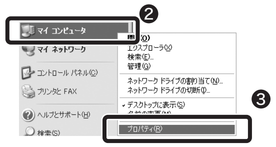
注意
- 「不明なデバイス」が複数ある場合、以下の手順をはじめる前にどの「不明なデバイス」が本製品の認識情報であるかを確認してください。レシーバユニットをいったんパソコンから取り外してみて、「不明なデバイス」の表示が消えれば、それが本製品の認識情報です。確認が終わったら再度本製品をパソコンに接続し、以下の手順にしたがって削除してください。
- 以下の手順どおりにドライバを削除しても「不明なデバイス」が消えない場合は、パソコンに何らかの問題が発生している可能性がありますので、パソコンメーカにお問い合わせください。

■Windows® XP/2000でデバイスマネージャを表示する

❶Windows® XPでは、[スタート]ボタンをクリックします。

❷Windows® XPではリストにある[マイコンピュータ]アイコンを右クリックします。Windows® 2000ではデスクトップにある[マイコンピュータ]アイコンを右クリックします。

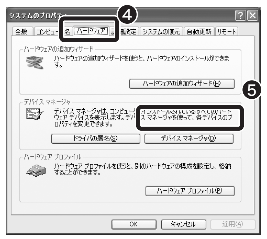
❸[プロパティ]をクリックします。


マイ コンピュータ
マイ ネットワーク
コントロール パネル(C)
プリンタと FAX
ヘルプとサポート(H)
検索(S)
開(O)
エクスプローラ(X)
検索(E)...
管理(G)
ネットワーク ドライブの割り当て(N)...
ネットワーク ドライブの切断(I)...
デスクトップに表示(S)
プロパティ(R)
❷
❸

※画面例はWindows® XPの場合

❹[ハードウェア]タブを選択します。

❺[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。


システムのプロパティ
全般
コンピュータ名
ハードウェア
詳細設定
システムの復元
自動更新
リモート
ハードウェアの追加ウィザード
ハードウェアの追加ウィザード(H)
デバイス マネージャ
ドライバの署名(S)
デバイス マネージャ(D)
ハードウェア プロファイル
ハードウェア プロファイル(P)
OK
キャンセル
適用(A)
❹
❺

ハードウェアの追加ウィザードを使うと、ハードウェアのインストールができます。

デバイス マネージャは、コンピュータにインストールされているすべてのハードウェア デバイスを表示します。デバイス マネージャを使って、各デバイスのプロパティを変更できます。

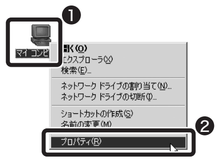
ハードウェア プロファイルを使うと、別のハードウェアの構成を設定し、格納することができます。

❻このあとは後の「『不明なデバイス』を削除する」へ進みます。

■Windows® Me/98でデバイスマネージャを表示する

❶デスクトップにある[マイコンピュータ]アイコンを右クリックします。

❷「プロパティ」をクリックします。

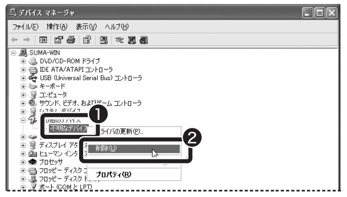

マイ コンピュータ
開く(O)
エクスプローラ(X)
検索(E)...
ネットワーク ドライブの割り当て(N)...
ネットワーク ドライブの切断(I)...
ショートカットの作成(S)
名前の変更(M)
プロパティ(R)
❶
❷

❸このあとは次の「『不明なデバイス』を削除する」へ進みます。

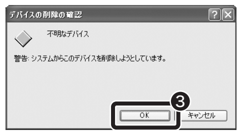
■「不明なデバイス」を削除する

❶[デバイスマネージャ]画面にある「不明なデバイス」を右クリックします。

❷ 削除 をクリックします。


デバイス マネージャ
ファイル(F)
操作(A)
表示(V)
ヘルプ(H)
SUMA-WIN
DVD/CD-ROM ドライブ
IDE ATA/ATAPI コントローラ
USB (Universal Serial Bus) コントローラ
キーボード
コンピュータ
サウンド、ビデオ、およびゲーム コントローラ
システム デバイス
その他のデバイス
不明なデバイス
ドライバの更新(P)...
削除(U)
プロパティ(R)
ディスプレイ アダプタ
ヒューマン インタフェース デバイス
プロセッサ
フロッピー ディスク コントローラ
フロッピー ディスク ドライブ
ポート (COM と LPT)
❶
❷

❸ OK ボタンをクリックします。


デバイスの削除の確認
不明なデバイス
OK
キャンセル
❸

警告: システムからこのデバイスを削除しようとしています。

❹本製品を接続したまま、Windows®を再起動します。
この後、1 ページ「レシーバユニットをセットアップする(Windows® の場合)」をお読みになり、ドライバのインストールをやり直してください。

・本書の著作権は、エレコム株式会社が所有しています。
・本書の内容の一部または全部を無断で複製/転載することを禁止させていただきます。
・本書の内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、販売店までご連絡願います。
・本製品の仕様および外観は、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
・本製品の故障、誤動作、天災、不具合、停電等の外部要因によって生じた損害につきましては、当社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
・本製品の廃棄方法については、地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせください。
・本製品は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外で保守サービスおよび技術サポート等はおこなっておりません。
・本製品のうち、戦略物資または役務に該当するものの輸出にあたっては、外為法に基づく輸出または役務取引許可が必要です。
・Microsoft®、Windows®は、米国Microsoft社の登録商標です。その他本書に掲載されている商品名/社名などは、一般に商標ならびに登録商標です。

ここに保証書シールをお貼りください。

保証規定

■保証内容
取扱説明書・本体添付ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合に、本保証書の記載内容に基づき無償修理いたします。

■無償保証範囲
製品が故障した場合、お客様は保証書に記載された保証期間内において、弊社に対し無償修理を依頼することができます。
ただし下記の場合、弊社は無償修理を承れません。
（1）・保証書をご提示いただけない場合。
（2）・保証書に販売店印ならびに購入年月日の記載がない場合。
（3）・保証書が弊社から発行した保証書でない場合、または偽造・改変などが認められた場合。
（4）・弊社より発行した保証書と認められない程に破損・汚れが付着している場合。
（5）・故障した製品をお送り頂けない場合。
（6）・弊社が動作を保証するとして指定した機器以外でご使用したために故障または破損した場合。
（7）・お客様の過失により本製品が故障または破損した場合。
（8）・火災・水害など天変地変および静電気などの異常な電圧などの外的要因により故障または破損した場合。
（9）・消耗部品の自然な消耗・劣化により故障した場合。
(10)・輸送中の振動・落下により故障した場合。
(11)・一般家庭用以外(例えば業務用)での使用による故障または破損した場合。
(12)・その他、弊社の判断に基づき、無償保証が認められない場合。

■修理
修理のご依頼時には製品をお買い上げの販売店にお持ちいただくか、弊社修理センターにご送付ください。

■免責事項
お客様がご購入された製品について、弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、損害賠償責任は購入金額を限度といたします。
弊社における保証は本製品の機能に関する保証のみに限ります。弊社瑕疵にもとづく本製品以外の責には応じません。
また記憶されたデータの消失または破損について保証するものではありません。

■有効範囲
本保証規定は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
この保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

ユーザーサポートについて

本製品のマニュアルは保証書を兼用しています。保証内容をお確かめの上大切に保管してください。本製品のご使用中に何らかのトラブルが起きたとき、または操作方法や使いかたがわからないときは、エレコム総合インフォメーションセンターにご連絡ください。

●エレコム総合インフォメーションセンター
商品に関するお問い合わせは
TEL. 0570-084-465
FAX.0570-050-012

受付時間
9:00〜12:00
13:00〜18:00
年中無休

基本仕様

製品名	無線マウス
製品型番	M-MBDUR
インターフェイス	USB
使用周波数	27MHz帯
対応機種	IBM PC/AT 互換機およびNEC PC98-NXシリーズでUSB ポートを標準で装備した機種
対応OS	Windows® XP/Me/2000/98 (日本語版OSに限り対応します。)
電源	単4形アルカリ乾電池または単4形マンガン乾電池 2本
電波到達距離	非磁性体(木製机など):見通し半径約1.0m 磁性体(スチール製机など):見通し半径約0.2m ※当社環境でのテスト値
電力性能	アルカリ乾電池使用時の目安 連続作動時間:約32時間 連続待機時間:約180日 想定使用可能時間:約15日 (1日8時間のパソコン操作中25%をマウス操作に割り当てた場合)
動作温度/湿度	0 〜 40℃/0 〜 85%(RH)
保存温度/湿度	-15 〜 60℃/0 〜 85%(RH)
分解能	800 カウント/ インチ
形状寸法/重量	マウス本体:W43.5×D79.5×H23.8/41.5g レシーバユニット:W58.0×D87.0×H28.5/47.5g
梱包内容	マウス本体、レシーバユニット、単4 形アルカリ乾電池、マニュアル

モバイルワイヤレスマウス　M-MBDUR シリーズ
ユーザーズマニュアル　2006年2月1日　第1版
エレコム株式会社
©2006 ELECOM Co., LTD. All rights reserved.